

～開祭式・開祭セレモニー号～

# Newspace

## 郡山東高校新聞 速報版93号

編集・発行  
郡山東高等学校新聞部  
発行人 松本 優衣  
編集人 多田野朱理  
〒963-8832 福島県  
郡山市山根町13-45  
電話 024-932-0898

# 宇宙祭ついに開幕

## 開祭式・開祭セレモニー 校内公開へ期待高まる

先月30日に郡山東高校の宇宙祭の開祭式が開かれた。開祭式では生徒たちが楽しめるようなイベントが多く用意されていた。文化祭実行委員会を中心として2日かけて本格的な準備をしてきた高校生活最大行事の宇宙祭が始まる。



↑各学年の生徒と馬場先生による宇宙祭開幕を告げる壮大なファンファーレの演奏

先月30日の9時20分から開祭式が開催された。大体育館と小体育館の2つに分かれて行われた。小体育館ではリポート参加となった。開祭式のファンファーレは3年生組が主体となつて楽器の演奏経験がある人が集められた。他にも、



↑実行委員長による開祭宣言



↑賞を受け取る代表生徒



↑演劇部と合唱部による祝演披露の様子

### 開祭セレモニー 盛り上がりを見せる

先月30日に大体育館で郡山東高校宇宙祭の開祭セレモニーが開かれた。開祭セレモニーではクラス企画のPRやファッションコンテスト、有志発表、クラス対抗イベントのクイズが行われた。開祭セレモニーでの有志発表は3組のみの発表と



→未成年の主張をする遠藤峻さん(3年)

### 傘アート 小体育館を彩る

昨日傘アートが完成した。無地のビニール傘には、色セロハンが張られ華やかになった。デザインされた傘は天井につるされ、普段とは違った小体育館となった。実行委員の石井健太さん(2年)は「折り鶴と傘アートの両立が難しかったが予定通りに完成できてよかった」と語った。(柘)



→会場の準備をする生徒



↑3年6組のクラス企画のPR



↑3年6組の山崎まどかさんらによる日本舞踊「花桃」



←3年1組のファッションコンテストの様子

### 東照手記

中学3年生の10月に中学生最後の文化祭が行われた。ところが私は文化祭で発表する合唱の練習にまったく身が入らなかった。しかも私は新聞委員会に所属しており、そこで文化祭に向けて新聞を書かなければいけなかった。しかし放課後に行っていた合唱の練習や通っていた塾に行くことを言い訳にこらも全無準備でい間かた文化祭まで、一緒に新聞委員会に所属していた友人が私に声をかけた。「そろそろ新聞を書き始めないとやばいよね?」私はこれ聞いて初めて焦りを感じた。しかし、今までだらけてきた合唱の練習をおろそかにするわけにはいかない。いろいろな不安になった私は、この気持ちを友人に相談した。すると友人は「焦っていてもどうしようもない。今はやるべきことがある。それを目標にひたすら頑張れ」私は友人と真逆な考えをしていた。私は「できない事はやらない。なぜならできないから」という考えをしてきた。できない事は後回しが当たり前の。次の日から私は今日何を頑張るかを毎日決め、達成できるようなした。その甲斐あって新聞を提出日ギリギリに出すことができた。その時は間に合ったという安心感と一週間やり切ったという達成感でいっぱいだった。新聞で賞を取ることはできなかったが賞よりも大切なことを学べた気がする。「勇往邁進」という言葉がある。この言葉には「恐れることなく、自分の目標に向けてひたすら前進する」という意味がある。人は目標が定まらなければ前に進むことは難しい。小さくても明確な目標を自分の中で決める。目標を達成するために、立ち止まることなく前に進んでいくことを大事にしたい。(じゅな)

